

花粉の少ない森づくりを応援しよう！

森づくり 支援倶楽部 会報誌

vol. **43**

発行日 令和4年7月15日

contents

- 01 ・ 企業の森
- 02 ・ 普及・PR活動
 - ・ 募金の報告
- 03 ・ YouTube 東京森づくりチャンネル
 - ・ 企業の森かわら版
 - ・ 東京マラソン2021,2023チャリティ
 - ・ 東京レガシーハーフマラソン
2022チャリティ
- 04 ・ とうぎょう林業サポート隊募集
 - ・ ミス日本みどりの女神
/ ポスター撮影を取材

花粉の少ない
森づくり運動

公益財団法人 東京都農林水産振興財団

「企業の森」

「企業の森」協定の締結

令和4年2月3日に第35号「企業の森・東栄住宅(青梅富岡)」、2月17日に第36号「グリーンアークの森(梅郷)」の森林整備に関する協定を締結しました。今後10年かけ、苗木の植栽、雑草の下刈りなど、森づくりをおこなっていきます。



企業の森・東栄住宅(青梅富岡)



協定締結式



グリーンアークの森(梅郷)



協定締結式



・企業の森とは

森林所有者、協賛企業・団体、(公財) 東京都農林水産振興財団の三者が、森林整備に関する10年間の協定を締結し、協賛企業・団体には、花粉の少ない森づくり募金への協力と森林整備等相当分の寄付をお願いします。協定期間中は、社員体験・研修の場として森林を利用していただけます。

「企業の森」イベント報告

企業の森・東栄住宅 (青梅富岡)

5月25日(水)、約50名の方が参加して、「企業の森・東栄住宅(青梅富岡)」で初めての活動がおこなわれました。看板の除幕式と記念植樹の後、入社1~3年目の若い社員の皆さまが、慣れない唐クワを使いながら、花粉の少ないスギの苗木100本、花粉の少ないヒノキの苗木210本を1本1本丁寧に植えました。植樹の後は丸太伐りにもチャレンジ。楽しみながら木と触れ合い、森づくりを体験していただきました。



企業の森・いなげや (日の出)

5月26日(木)、今年で3年目となる「企業の森・いなげや(日の出)」では、10名の方が参加して補植がおこなわれました。活着不良などにより上手く育たなかった苗木の代わりにクヌギ、コナラ、イロハモミジ、ヤマモミジの広葉樹を新たに植えました。森づくりには、こうした絶え間ない手入れが大事です。



エコロジいの森 (青梅黒沢)

6月4日(土)、(株)NTTファシリティーズの企業の森「エコロジいの森」では、お子様も含め29名の方が参加して下刈りがおこなわれました。今年で6年目となるこの森では、毎年おこなってきた下刈りなどの手入れによって、植樹した木は立派に育っています。



日本事務器・あきる野引田 企業の森 ※企業の自主イベント

5月21日(土)、43名の方が参加して自主イベントがおこなわれました。8年目となるこの森では、植林した花粉の少ないスギが7~8メートル程に成長。今回は、下の方の枝を切り落とす「根払い」をおこないました。これは将来、節が表に現れない良質な木材となるための大切な作業です。



企業の森・公益社団法人青梅法人会(長淵) ※企業の自主イベント

6月21日(水)、12年目となるこの森では、初参加の方も含め11名による下刈り作業がおこなわれました。四季折々で楽しめる木に育った広葉樹の林、そこに生えた雑草を刈り取りました。手入れの行き届いた里山を目指して、今後も活動を続けていく予定です。



普及・PR活動

立川市立第九中学校でミニカルチャー講座を開催

3月1日(火)、17名の生徒さんが参加したこの講座では、東京の森づくりの説明と森林調査に使っているドローンの紹介のあと、とうきょうの木・多摩産材を使ったお箸づくりに挑戦。小刀を初めて握るといふ生徒さんもいて苦労していましたが、真剣に取り組み、見事、完成しました。東京の森づくりを知ってもらえる良い機会になりました。



みどりの感謝祭「みどりとふれあうフェスティバル」に出展

5月15日(日)、江東区の木場公園を舞台に「みどりとふれあうフェスティバル」が開催され、当財団もPR活動をおこないました。当日は行列ができるほどの大盛況で、丸太伐りチャレンジのほか、お箸、コマ、コースターを手作り。多くの親子に楽しんでいただきながら「花粉の少ない森づくり」の紹介ができました。



東京の木多摩産材 ふれあい展示会で「花粉の少ない森づくり」PR ブースを設置

6月14日(火)~7月28日(木)(開館時間:平日12時~18時)まで、御茶ノ水駅近くにあるECOM駿河台で、東京の木多摩産材と触れ合える展示会が開催されています。木工製品の展示の他、木のおもちゃで遊んだり、木工の工作体験なども楽しめます。この会場に実物の花粉の少ないスギの苗木を展示するなどして、「花粉の少ない森づくり運動」を紹介しています。実際に木に触れ、木の良さを体感しながら、木を伐って使うことの意義を知っていただければと思います。



募金の報告

会員の皆様のご協力・ご理解のもと「森づくり支援倶楽部」は、今年で17年目を迎えます。平成18年3月27日の募金開設から令和4年3月31日まで、多くの企業、団体、個人の方から、募金に賛同をいただいております。花粉の少ない森づくりへのご協力ありがとうございます。

| 団体区分 | 募金額 |
|------------------|--------------|
| 個人・企業の直接寄付/募金箱 ※ | 387,422,999円 |
| 東京マラソンチャリティ | 109,040,209円 |
| パスモ | 34,996,725円 |
| 合計 | 531,459,933円 |

※「森づくり支援倶楽部」の募金を含む (令和4年3月31日現在)

YouTube「東京森づくりチャンネル」の第8・9弾を公開

花粉の少ない森づくり運動で開設しているYouTube「東京森づくりチャンネル」。ふだん見ることのできない東京の森での植樹や下刈りなどの作業の様子をはじめ、林業作業者の仕事ぶりや苦労などをお伝えしています。

今回は、第8弾・花粉の少ないスギやヒノキから、どうやって種をつくっているのでしょうか？【後編】、第9弾・美しい木材に育てる為に冬場におこなわれる大切な作業を公開しました。ぜひご覧ください。

YouTube「東京森づくりチャンネル」
の登録はこちら



チャンネル登録よろしくお祈いします！



第8弾 「花粉の少ないスギやヒノキの種をつくらせていただきます【後編】」



第9弾 美しい木材に育てる枝打ち

「企業の森」かわら版のNo.5・6を発行

もっと多くの方に東京の森を理解していただくため、「企業の森」へ参加する企業・団体の取り組みをはじめ、四季折々で咲く花の様子など、日々、「企業の森」を見回って見てきた出来事を記事にしています。

No.5のWINTER2022では、植栽する前の山の様子から10年を迎えた「企業の森」の変遷を紹介。No.6の2022春・夏編では、春を迎えた山の様子や、参加いただいている企業・団体の皆さまの「企業の森」での作業の様子などをお伝えしています。



No.5 WINTER2022



No.6



かわら版は
こちら

東京マラソンの報告



東京マラソン2021チャリティ

延期となっていた東京マラソン2021が、令和4年3月6日(日)に開催されました。

市民ランナーの出走は3年ぶりとなったこの大会では、「もう一度、東京がひとつになる日。」をテーマに掲げ、およそ1万9千人のランナーが東京を駆け抜けました。

(公財)東京都農林水産振興財団は

東京マラソン2021チャリティの寄付先団体です

東京マラソン2021に(公財)東京都農林水産振興財団のチャリティランナーとして出場された方は28名の方でした。コロナ禍の中で思うようにマラソン大会への出場ができなかった方も多くいたと思いますが、3年ぶりとなった今回の東京マラソンを心より楽しめたことではないでしょうか。

東京マラソン2021チャリティ公式ウェブサイト

https://www.marathon.tokyo/about/past/2021/charity_results/



東京マラソン2023チャリティ

東京マラソン2023は、令和5年3月5日(日)に開催です。引き続き寄付先団体として活動を継続しています。いただきました寄付金は東京マラソンを通じて、各寄付先団体に届けられます。当財団では花粉の少ない森づくりの費用に充てられますので、引き続きご協力をお願いいたします。

募集期間 チャリティランナー：7月11日～7月24日
寄付のみ：7月11日～8月31日

詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。

東京マラソン2023公式ウェブサイト(チャリティページ)

<https://www.marathon.tokyo/charity/>



東京レガシーハーフマラソン2022チャリティ

“もうひとつの東京マラソンはじまる。”をテーマに、10月16日(日)、開催の東京レガシーハーフマラソン2022。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を機に高まったスポーツやウェルネスの気運をレガシーとして末永く継承し、人々の感動の記憶とともに残していけるよう、東京2020大会のパラリンピックマラソンコースを活用したハーフマラソンが今年初めて開催されます。国立競技場を発着点に20kmを走るコースは、ランニング経験があまりない初心者にもお勧めということです。どんな大会になるのか今から楽しみです。

(公財)東京都農林水産振興財団は

東京レガシーハーフマラソン2022チャリティの寄付先団体です

25ある寄付先事業(団体)のひとつとして、「花粉の少ない森づくり運動」へ、多くの方からご寄付をいただき、誠にありがとうございました。チャリティランナーとして出場予定の皆さま、大会当日は「花粉の少ない森づくり運動」の職員も応援に伺う予定ですので、大会当日まで、ケガのないよう練習に励み、大会を楽しんでいただければと思います。

■寄付総件数:29件 ■寄付金総額:2,915,000円(6月7日時点)

東京レガシーハーフマラソン2022チャリティ公式ウェブサイト

<https://legacyhalf.tokyo/charity/index.html>



とうきょう林業サポート隊員 募集中!

とうきょう林業サポート隊は、ボランティアとして、多摩地域の森林で植栽や下刈り等の森林作業に携わり、森づくりをサポートする活動を行っています。初心者でも安心して参加ができるよう、林業の専門家のもと、安全に気を配り、現場の状況に合わせて作業を進めています。また、森林作業前の安全講習のほか、上級救命講習なども開催しています。

詳しくはこちら

<https://ringyou-support.tokyo/>

隊員は随時募集しています!

HPから募集・登録とチラシ&ポスターによるPRも行っています。撮影モデルには、その年のミス日本みどりの女神にお願いしています。



活動の様子

今年の「ミス日本みどりの女神」は?



2022ミス日本みどりの女神
成田愛純さん Narita Asumi

プロフィール:

神奈川県川崎出身。小さい頃から自然が大好きで自宅周辺でカブトムシやクワガタなどを捕まえては育てていました。中学3年生の時にスカウトされ芸能界入り、女性なら誰もが憧れる「Seventeen」の専属モデルに抜擢。それを皮切りにテレビドラマにも出演するなど、活躍の場を広げています。将来は「世界に通用する女優・モデルになる」のを夢に、新しい人や知識に出会うことを楽しみにしながら、日々、稽古に励んでいます。

ミス日本みどりの女神とは?

ミス日本協会主催によるミス日本コンテストにおいて、2015年に創設された賞。未来に繋がる豊かな緑を守り育ててきた取り組みや生活に根ざした日本の木の文化の大切さと素晴らしさを伝え、みどりと木への親しみを広める役割を担います。

「ミス日本みどりの女神」のポスター撮影を取材



5月某日、日の出町にある東京都農林総合研究センターの日の出試験林にてとうきょう林業サポート隊のポスター撮影が行われました。

カメラマンやとうきょう林業サポート隊事務局の方から出される指示に、愛純さんは、ひとつひとつ楽しそうに、しっかりと応えていました。



ミス日本みどりの女神にインタビュー

ミス日本みどりの女神に選ばれた時の感想は?

名前を呼ばれた時は、いろんな思いが混ざって、頭が真っ白になってしまいました。名前を呼ばれたからは、「やっぱりこの人を選んで良かった」と思ってもらえるよう一所懸命に活動をしていきたいです。みどりと木への親しみが広まるよう貢献できればと思います。

西多摩方面へはよく来られるんですか?

このミス日本みどりの女神を受賞した時に、青梅線沿線のホテルに宿泊できる「沿線まるごとホテル」という副賞をいただき、その時初めて奥多摩へ遊びにきました。幼い頃から自然が大好きで、ずっと行きた

かった場所だったので、すごくハッピーな気分になりました。山の事も知ることができ、住んでいる方の温かい思いも受け取って、とても楽しかったのを覚えています。

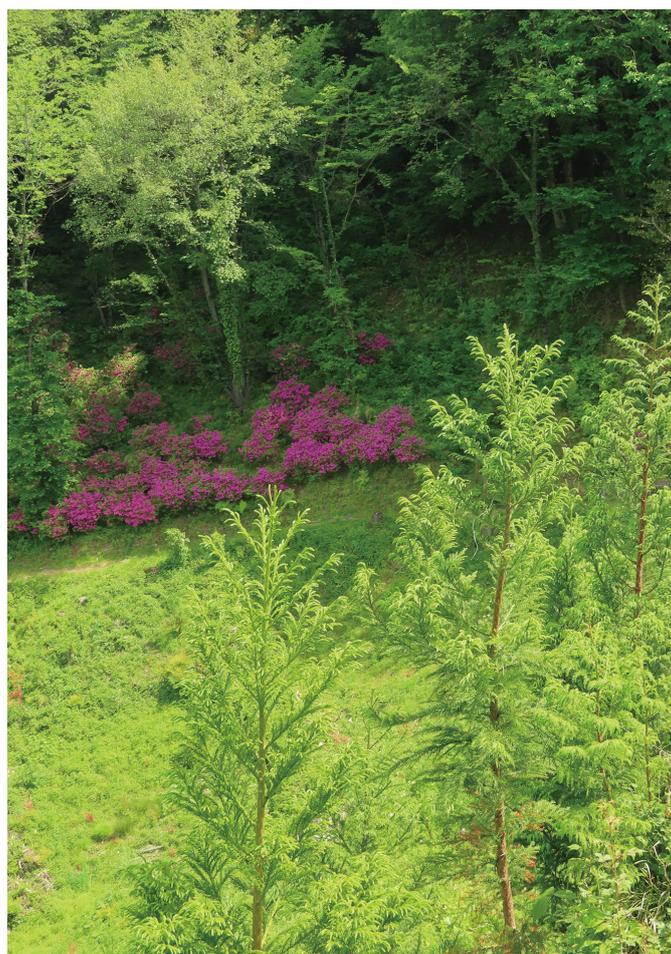
ミス日本みどりの女神の活動を通じて伝えたいことは?

親しみがある自然に関する活動をするということで、伝えたい事はいっぱいあるんですが、森林の大切さとか林業の大変さとかを自分の目で見て、体験して、知ってから、それを自分の言葉で伝えていきたいです。特に、同世代の人たちに自分の言葉で伝えることで、自然の大切さに気づいてもらえたらと思っています。



撮影しましたポスターは
8月頃お目見えの予定です。

花粉の少ない 森づくり運動



育てます豊かな食とみどりの東京
公益財団法人 **東京都農林水産振興財団**
Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町6-4-1 青梅合同庁舎3階

TEL : 0428-20-8153

Email : moridukuri@tdfaff.com

HP : <https://moridukuri.tokyo/>



(公財)東京都農林水産振興財団は、
SGEC森林管理認証による環境に配慮した
森林管理を実施しています。

月1回、花粉の少ない森づくりに関する
メールマガジン(無料)を配信中です。
是非、右のQRコードから登録を!

